



音楽にあわせてステップ ～ 今年度は富津内地区コミュニティセンターも会場に

このスポーツ教室は、家族単位であればだれでも参加できます。また、午後六時から開かれるので、仕事を終えたお父さんたちが、たくさん参加するのが特徴です。前半の一時間は軽体操やフォークダンスなど、後半の一時間はバドミントンやバレーボールなどいろいろなスポーツを、家族で自由に楽しめます。開催は各地区ごと一回ですが、家族(ファミリー)の心がふれあう大変よい機会となっています。

毎年一月、家族ぐるみでスポーツを楽しむ「ファミリースポーツ教室」が開かれます。昨年度までは広域体育館が会場となっていました。今年度からは「届ける社会教育」ということで、各地区の施設に公民館の職員が用具を持って出向き、指導にあたることになりました。

町の生涯教育 ファミリースポーツ教室

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所

川をきれいに



蛇喰付近

(「広報」紙中にある写真を欲しい方にはおあげします)

消防出初め式

無火災の決意新たに

功労・協力者を表彰

新春恒例の消防出初め式は一月六日、消防署員や消防団員など約三百五十人が参加して行われました。昨年は町内で建物火災六件、車両火災一件発生し、一人が死亡しており、消防署員や団員の皆さんは、今年こそ無火災との決意を新たにしてお出初め式となりました。

消防署員や団員たちは、午前九時に消防署前の道路に整列し、消防長である町長の観閲を受けました。続いて式典

ラッパ隊の吹奏にあわせて力強く行進し、今年一年の無火災を呼びかけました。

式典は午前十時から広域体育館で行われ、防火、消火活動などに協力、あるいは功労のあった個人、団体に表彰状や感謝状が贈られました。

この後、町長の式辞、消防団長の訓辞、消防副団長の宣誓が行われたほか、被表彰者を代表して小玉勇悦さんが「この感激を契機になお一層頑張ります」と謝辞を述べました。

会場は午前十時から広域体育館で行われ、防火、消火活動などに協力、あるいは功労のあった個人、団体に表彰状や感謝状が贈られました。

消防署前で町長の観閲を受ける消防署員と団員



消防功労者と協力者の表彰

県知事表彰

- ▽有功章
小玉勇悦 嶋崎昭三郎
畠山三郎 錦織一男
- ▽三十五年勤続章
川村茂次 錦織一男
- ▽三十年勤続章
佐々木勝之助 嶋崎昭三郎
一関吉弘

- ▽二十五年勤続章
石井力蔵 金野勇
石川英雄 伊藤金一郎
畠山和男 伊藤建一
- ▽二十年勤続章
鳥井勇 加藤悦朗
石川堅悦 内藤實
朝野春男 椎名吉五郎
- ▽消防施設協力者
伊藤隆治 工藤隆男
小熊珍市 佐藤勝彦
- ▽消防施設協力者
館岡重利 佐々木俊夫
- ▽火災予防協力者
小玉アイ
- ▽消防活動協力者
小玉金五郎

- ▽消防功労者
石井力蔵 金野勇
石川英雄 伊藤金一郎
畠山和男 伊藤建一
- ▽十五年勤続章
猿田清 館岡敏雄
一関鏡一 石井与七
児玉健 越高悦雄
- ▽功労章
石井力蔵 金野勇
石川英雄 伊藤金一郎
畠山和男 伊藤建一

- ▽二十五年勤続章
石井力蔵 金野勇
石川英雄 伊藤金一郎
畠山和男 伊藤建一
- ▽二十年勤続章
鳥井勇 加藤悦朗
石川堅悦 内藤實
朝野春男 椎名吉五郎
- ▽消防施設協力者
伊藤隆治 工藤隆男
小熊珍市 佐藤勝彦
- ▽消防施設協力者
館岡重利 佐々木俊夫
- ▽火災予防協力者
小玉アイ
- ▽消防活動協力者
小玉金五郎

国税だより

贈与税の申告をお忘れなく

一年間に贈与を受けた財産の価額を合計して、六十万円を超えるときは、贈与税の申告をしなければなりません。

贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までですが、一時に納めることが困難なときは、担保を提供するなどして、五年以内の年賦による延納もできます。



詳しいことは次のところにおたずねください。

▽秋田北税務署

電話 45-1161

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

▽秋田南分室

電話 33-3044

矢場崎
住宅団地

分譲残り三区画

第一期
造成地

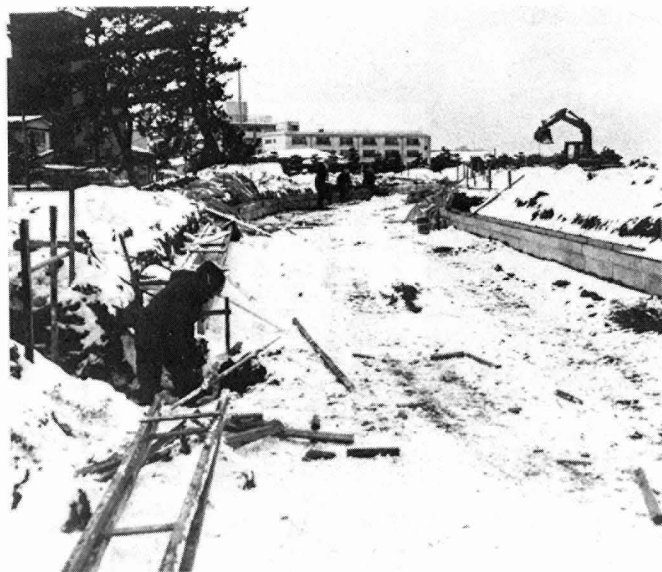
新たに16区画を造成

矢場崎住宅団地の第一期造成地三十二区画のうち二十九区画が分譲済みで、町の開発公社では残りの三区画も近く分譲できるものと見ています。

このような好調な分譲実績をふまえて、開発公社では現在、三月下旬竣工を目指して第二期造成工事にとりかかっています。この造成地は矢場崎大通り線の西側で、分譲は遅くとも七月上旬にしたいと見ています。分譲面積は四、〇六五平方メートル、十六区画。

矢場崎住宅団地の造成地は旧五城目高校跡地と矢場崎グラウンド跡地で、五城目高校の西野への移転新築により、昭和五十八年に町の開発公社に所有が移管されました。開

面積は三三、七八三平方メートル、矢場崎住宅団地の宅地開発



第2期造成工事が行われている矢場崎住宅団地

トル。これを第一期一五、八六九平方メートル、二期五、二二七平方メートル、三期一、六八七平方メートルとして、昭和五十九年二月に土地利用計画を策定。同七月中旬に第一期工事を完了し、八月下旬から一般に分譲しました。第一期工事完了による分譲宅地面積は一五、八六九平方メートル、三十二区画。

また、町は昭和五十八年に住まいづくりに特徴のある町として、国から地域住宅計画（ホープ計画）の指定を受けています。町では、この計画に基づいて矢場崎住宅団地をモデル地区とし、六十年度から六十三年度までの四年間で、団地内に二十戸のモデル木造住宅を建設する計画です。現在、団地の東側に一戸一戸変化をもたせた町営住宅を建設中で、今年度中に五戸完成します。

経済の低迷が続く中、特に住宅産業が落ち込んでおり、矢場崎住宅団地内の一般住宅の新築は遅れるものと見られていましたが、すでに九戸が建設され、市街化しつつあります。

また、同団地について県内外からの問い合わせも多く、開発公社では宅地の需要に応えるため、住宅団地の造成、整備を急いでいます。

矢場崎住宅団地についてのお問い合わせは、五城目町開発公社（☎52-2100）へお願いします。

冠婚
葬祭

公民館の調査から

⑪

御布施は導師十万円 客僧三万円～八万円？

▽葬儀の御布施はどのくらい（導師の場合）
葬儀の御布施は導師の場合「十万円」とする回答が二三・四％と最も多くなっています。

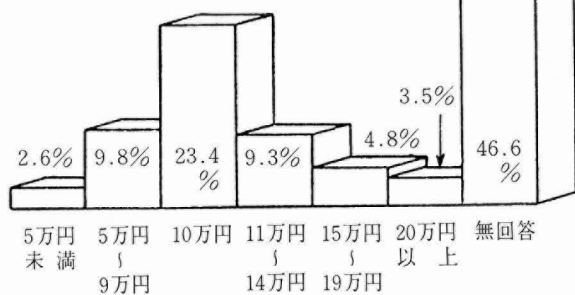
しかし、「よくわからない」が四六％以上もあり、経験しないと回答できないこと

を表わしているようです。全県の調査では「五万円から九万円」に回答が集中しており、全体の四二％を占めています。

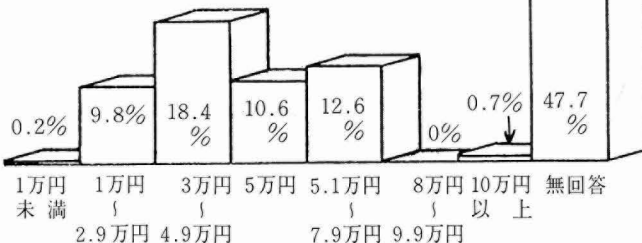
▽葬儀の御布施はどのくらい（客僧の場合）
回答は三万円から七万九千円までの間にばらついて

います。全県の調査でも、「三万円から四万九千円」が三六％、「五万円から八万円」が三七％という結果がでており、本町の場合も「よくわからない」という回答を除けば、大体全県と同じような傾向を示しています。

御布施の金額
①導師の場合



御布施の金額
②客僧の場合



2月16日

子どもの雪まつり

第九回子どもの雪まつりが、二月十六日(日)午前十時から恋地スキー場で開かれます。子どもの雪まつりは、町内の子供さんと父兄の方であれば、だれでも参加できます。会場には各コーナーが設けら

恋地スキー場で開催

れ、参加者全員が何回でも楽しく遊べるようになっていきます。ただし、昼食やスキー、ソリ、豚汁を食べるためのおわんなどは、各自持参してください。

また、当日は各地区から貸

- 切バスが運行されますので利用してください。
- ▽日程
- ・午前十時～開会式
 - ・午前十時十五分～正午 雪合戦 たこあげ みかんひろい 綱引き ポピー大会 餅つき スキー教室 相撲大会 その他
 - ・正午～午後一時 昼食
 - ・午後一時五十分～閉会式

紹介します

焼き物作りの佐藤さん 三年間の作品を発表



リバーサイド磯ノ目を会場に
作陶展を開いた佐藤さん

町内で焼き物の創作活動を行っている佐藤秀樹さん(三十五歳・岡本二区)が、一月十日から十五日まで、リバーサイド磯ノ目で作陶展を開き、百五十点あまりの作品を公開

しました。

佐藤さんは仙北郡仙南村の出身。かつては「五城目焼き」と呼ばれ、特色ある焼き物の産地であった本町に着目し、五十八年六月に来町。以来、岩野の「野鳥の森」入口ちかくの作業場で、町内から産出する粘土をはじめ、釉薬に混ぜる「わら灰」や「木灰」、「鉄分を含む粘土」を利用して制作を続けています。今回の作陶展は、三年ちかくの間に本町で焼きあげた作品を発表したもので、佐藤さんにとって初めての作品展。

佐藤さんの作品は、柔らかなみのある形をしており、色彩は白色と緑がかった茶色を基調としているのが特徴。また、手になじむ感じで、見かけよりも軽くできており、使いやす

い作りになっています。

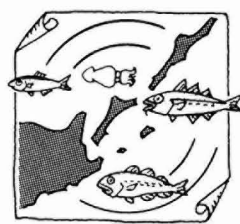
「私は大皿のような『飾り物』も作りますが、主体はふだん生活で使うもの、使えるものです」と語る佐藤さん。

会場には茶わん、湯飲み、小皿、ちょうし、ぐい飲み、きゆうすなど、日常家庭で使う焼き物がたくさん並べられていました。

「まだまだ勉強しなければなりません」と自分の技術に厳しい佐藤さん。若いときからの夢を実現するため、大学卒業後に就職した仕事をやめて陶芸の道に入ったそう、東北最大の上り窯のある福島県会津本郷の陶芸家のもとで、五年間指導を受けています。

今後、現在のガス焼き窯に替え、念願の上り窯による創作に入る計画。「一年に一回はこのような作品展を開きたい」「このような作品展を開いた以上、立派な焼き物を作るために頑張っていきたい」と決意を語っていました。

お知らせ



北方領土の日 2月7日

納税相談17日役場で

気軽に相談ください

税務署からの巡回納税相談が行われます。所得や税金の計算、申告書の書き方などについて、気軽に相談ください。

▽日時 二月十七日(月) 午前九時半～午後三時半

▽場所 役場大会議室

交通安全教室

2月15日、商工会館で

五城目町公民館五城目分館と交通安全上町・下町部会の共催で、交通安全教室が開かれます。

詳しい内容は分館主事、渡辺正志(☎52-2462)まで。

▽日時 二月十五日(土) 午後六時三十分～

▽場所 五城目町商工会館

※免許証を持参してください。

公民館馬川分館

町政・健康講演会

五城目町公民館馬川分館主催による「町政ならびに健康講演会」が次のとおり開催されます。

▽日時 二月十六日(日) 午後二時～

▽場所 馬川分館

▽内容

・健康講座

演題「住民に信頼される病院づくり」

講師 蔭田光郎氏(湖東総合病院院長)

・町政について

演題「我が町の将来」

講師 加賀谷町長

馬川地区

小学生書道大会

馬川地区小学生書道大会が五城目町公民館馬川分館の主催で行われます。

参加者は書道用具を持参してください。また、各学年ごとに審査し表彰します。

▽日時 二月九日(日) 午前九時～十一時

▽場所 馬川分館会議室

▽連絡先

五城目町公民館 広嶋まで(☎52-4411)

山岳愛好者を募集

初心者も入会できます

山岳会を結成するため、有志たちが山岳愛好者を募集しています。

経験者や初心者の方、また男女を問わず入会できます。ただし、三十歳未満ではかの山岳会に所属してない方に限ります。

▽連絡先

佐々木義春 ☎53-2645

町内の話題

町内から一 等当選二人

お年玉年賀はがき

お年玉付き年賀はがきの当選番号が発表されましたが、一月二十四日現在で、町内から二人の一等当選者が出ています。

この幸運な人は町内の斉藤英理子さん（十一歳）と岡本の佐々木治三郎さん（四十八歳）で、今年の一等賞品はビデオデッキです。

デオデッキ。

斉藤さんへの賞品の贈呈は、一月二十一日、馬場目郵便局で行われ、賞品を手にした斉藤さんは「はやくマンガを録画したい」とうれしそうに話していました。また、佐々木さんにも一月中には手元へ届くとのことでした。

なお、賞品の引き換えは、一月二十日から七月十九日までの半年間、各郵便局で行っています。



賞品のビデオデッキを受ける斉藤さん



魁新報社賞を受けたうた子ちゃん

表彰

年賀状版画コンクール

うた子ちゃんに魁新報社賞

第三十五回全日本年賀状版画コンクール東北地方予選で、町内から五名の児童が入賞しました。

お名前は次のとおりです。

【小学校低学年の部】

▽秋田魁新報社賞

みなとつた子

（五城目小一年）

▽佳作

越高知佐子

（馬場目小三年）

ちぐさゆうこ

（五城目小一年）

ひらかわなおこ

（五城目小一年）

【小学校高学年の部】

▽佳作

佐藤基貴（馬場目小五年）

県児童生徒美術展

五小から七人入賞

第二十六回秋田県児童生徒美術展が、一月五日から十二日まで秋田県立美術館で開催され、五城目小学校から二十二人が出品、七人が入賞しました。

中でも一年生の阿部君の作品は、自然の素材を生かし、学年にふさわしい表現をしていると高く評価され、話題を呼びました。

入賞者は次のとおりです。

▽絵画の部

斉藤康彰（一年）、小武海

ゆかり（四年）、伊藤盛行

（六年）

▽版画の部

伊藤美里（一年）、伊藤英

理子（六年）

▽デザイン部の部

工藤俊信（一年）

▽彫塑の部

阿部伸吾（一年）



阿部君の作品



入賞した皆さん

お知らせ

スキー教室・大会

五城目町スキークラブ

恋地スキー場を会場として、五城目町スキークラブ主催のスキー大会や教室が次のとおり行われます。

詳しいことは事務局（伊藤英紀 ☎52-2468）まで。

▽五城目町民スキー大会

二月二日 午前九時

▽スキー教室

二月九日 午前十時

▽スキー教室

二月十一日 午前十時

▽南秋スキークラブ対抗スキー大会

二月十六日

▽第二回スキーパッチテスト

二月二十三日 午前九時

▽スキー教室

三月二日

森林・林業の冊子販売

県林業改良普及協会

秋田県林業改良普及協会では、昨年、国際森林年ということで、森林・林業の普及啓発に役立てようと冊子を作成しました。

頒布価格は次のとおりです。

購入を希望する方は電話でお問い合わせください。

▽森林浴適地ガイドブック

三百円

▽秋田の優良林家・優良林分

三百円

▽問い合わせ先

秋田県林業改良普及協会

（県林政課内）

☎60-1640 加藤

※「ふる里・木・暮らし」を

希望する場合も同じ所へ連絡してください。

電話級アマチュア無線

秋田市で試験実施

▽試験申請書の受付期間

二月一日～二十五日まで

（当日消印有効）

▽試験の日時

四月二日～五日までの指定

する日時

▽試験地

秋田市文化会館

▽試験手数料

二千六十円

（受験票郵送料を含む）

▽試験申請書の提出先

〒980 仙台市中央四丁

目九〇十三 仙台ホリビル

（財）無線従事者国家試験セ

ンター東北支部

▽問い合わせ先

☎0222(21)4146

NHK学園

受講生を募集

NHK学園では、生涯学習講座（通信講座）の受講生を募集しています。

生涯学習講座には、教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など十二講座あります。受講の申し込み受け付けは、二月十五日から四月十五日まで。

詳しいことは、東京都国立市富士見台2-36、NHK学園（☎0425-721315）へおたずねください。

交通災害共済金

1	死亡	1,000,000円
2	自賠法に定める第1級の障害	800,000円
3	6カ月以上の治療期間を要する傷害	160,000円
4	5カ月以上	100,000円
5	4カ月以上	80,000円
6	3カ月以上	60,000円
7	2カ月以上	35,000円
8	1カ月以上	24,000円
9	1週間以上	12,000円

※治療期間については1週間に1日の実治療日数を要します

不慮の災害共済金

1	死亡	1,000,000円
2	自賠法に定める第1級の障害	800,000円

- 交通災害共済の場合、治療に要した入院・通院期間によって上記の共済金をお支払いいたします。
- 不慮の災害共済による共済金は1等級（死亡）・2等級（重度障害）をお支払いいたします。

交通災害共済・不慮の災害共済

掛金は一人年額三百円

遺児等にも共済金

昭和六十一年度の「交通災害共済」と「不慮の災害共済」の加入申し込みを、役場住民課で受け付けています。この共済制度は、県内八市六十カ町村の住民が互いの助け合いによって、事故や災害の被害者を救済しようというもので、年齢、性別、職種に関係なく、だれでも加入できます。

共済期間は、四月一日から来年の三月三十一日まで。四月一日以後に加入した方は、申し込みをした日の翌日から来年の三月三十一日までとなります。共済の掛金は、交通災害共済、不慮の災害共済それぞれ一人年額三百円です。交通災害共済と不慮の災害共済は別々のものですので、二つ同時に加入した方が安心です。二つ同時に加入する場合は、掛金は一人年額六百円となります。

交通災害共済

交通災害共済に加入しますと、次のような場合に、被害の程度に応じて最高百万円までの共済金が支払われます。道路上で自動車、バイク、自転車、路面電車、バスなどに乗っていて衝突、接触、転落、転覆事故にあった場合。また、歩行中にこれらの乗り物にはねられたり、ひかれた場合。

不慮の災害共済

不慮の災害共済に加入していて、次のような事故により死亡あるいは重度の後遺障害を残した場合に共済金が支払われます。

道路上でなかったため交通事故とならなかった自動車などによる事故、農林漁業中の事故、工場内での作業事故、土木作業中の事故、船舶、航空機による事故、地震、落雷、火災、台風などによる災害、海水浴などレクリエーション、スポーツ中の事故、山菜取りなど入山中の事故。

奨学援助金制度

交通災害共済、または不慮の災害共済に加入しているお父さん、お母さんのいずれかが、交通事故や不慮の事故で死亡あるいは重度障害者になった場合、その遺児等に対して幼稚園（保育所）から高校卒業までの十四年間、遺児等一人につき月額四千円の奨学援助金が支払われます。

親子の健康な歯ぐき運動の反省

馬場目小学校PTA 小玉 光子

二月に入り、六十年度も残り少なくなった時間の中で、まだあの時の感動が尾を引き、私の脳裏から離れない生活を送っています。

十月一日の「健康な歯ぐき研究大会」が終わって四カ月余り、正直言って今の気持ちは、一つの仕事を成し遂げた安堵感、今はとにかく頑張らなくてはという目標に向かつて全力投球で活動していたのがブツッリ途切れた空虚感、たえ周りの人たちがどう評価し、どう受け止めたかと、私は私なりにやり通した満足感など、私の心の中で複雑な感情が行き来しています。

長男が四・五・六年生、長女は一・二・三年生とこの実践活動のちょうどよい時期にあたり、私にとっても子供たちにとっても、今思い出すととてもラッキーな三年間だったようです。

実践活動の二年間、そして公開発表へ向けてのこの一年間は、特にPTA活動の面、また、家庭内でもこの運動を通してほんとうに学ぶことが多く、私にとっても実りのある一年間でした。さて、学校側より、父兄代表の体験発表という重大な責務を与えられ、数カ月間私はとても不安でした。早く十月一日が来ないか、早くこの運動が終わって

てくれればいいと、毎日のカレンダーのめくりにも力が入りました。

でも、学校へ行くたびに、授業が終わった後も夜遅くまで校長先生をはじめ先生方が一生懸命取り組んでいらっしゃる姿に、私も自信をもって研究大会へむかい、今までご協力くださいましたPTAの方々や地域の方々に応えるべく頑張らなければと強く決心したのです。

運動会の後から一カ月近くに迫った研究発表へ向かって、毎日毎日ペンをとって原稿用紙とにらめつこの生活でした。そんな母親を見て子供たちは、「お母さん、また書いてらたが。まだ起きていたの。早く寝れば」と言ったりして、今までにない思いやりを示してくれました。いつも口うるさく、炊事、洗濯とこまごまと働いている私の姿を見ている子供たちには、何か心打つものがあつたようです。

こうしたことがきっかけになって、私は、以前より口数が少なくなり、命令調が消えたかたちで子供たちに接するようになりました。おかげで子供たちもマイペースで本を読んだり、テレビを見たり、短かい時間ですが机にも向かっているようです。

子供を育てるはずの親が、子供に育てられた格好になりました。自分は三十代の母親であると思っていたけれども、実は、子供と同じ年の母であつたことを忘れていました。

また、夫や姑も、こうした私の姿を見て、私に対する見方が変わったように思います。同じ目標に向かつて歩んだ家族一人ひとりが、それぞれ得たものがあつたようです。

研究大会が終わった瞬間「子供を生んでよかった」「子供がいてよかった」と思いました。子供のおかげでいろんな人とめぐりあい、そして、笑ったり、泣いたり、怒ったり、悲しんだり、感動したりすることができました。私は、私を取りまく皆さんに大きな声で、「ありがとう」と叫びたい気持ちです。

研究大会も大成功に終わりほとんどによかったと思つていました。私にしては、一番輝いていた一年間だったし、これからの私の人生にやればできるんだという自信めいたものが根づいたような気がします。

最後に、PTAの毎年の事業の中に、3K運動の中の例えは「あいさつ」一つとつてみて、一年間の子育ての活動目標にして取り組んでみるのもいいのではないかと考えます。将来子供たちが父親・母親になった時に、また孫のために、辛い記念になる資格もいただけし、歯のことについて語り合い、実践して、一生終わりのない運動にしたいものです。

五城目町親子の健康な歯ぐき運動推進委員会

みんなの広場



初春をうたう

婦人会川柳クラブ

虎年の孫そばにいてハッピーに
除夜の鐘丸く家族の輪にとける
夫と酌む屠蘇へ老いゆく齢を盛る
生き杖の夫と初日の坂のぼる
胎動の児に初明り差し上げる
雑用をこなす腕あり老の初春
とんびの輪休耕田に春新た
初春の空へ可能性横たわる
新春の晴着は母の白割烹
初詣で頬に冷たき森山おろし
年明けてぎらぎら虎の目が燃える
元日の雑兵にある句読点

黛吟社

鬼灯の遊びを母に教へられ
筆が吸う墨のかおりや書初す

腎バンク登録に

ご協力をお願いします

石井敏夫(西磯ノ目町)

私は昭和五十二年より腎不全で腎臓の機能を損われ、人工透析でその生命を維持しております。私達透析患者は厳しい食事制限に加えて、一回五時間かかる透析治療を一週間に三回、一回も欠かすことができないので社会生活上著しい制限があり、また透析治療中の血圧低下等で意識不明の状態になることもあります。

当町では透析設備をもった病院がありませんので、秋田市の病院まで通うためバス代等がかさみ、家族、親せきに変な負担をかけております。このような問題の解決に、最も有効な方法が腎臓移植なのです。腎臓移植によって社会復帰もできるので、事情ご推察くださいます。ひとりでも多くの方が腎バンクにご協力くださるよう心からお願い申し上げます。



人工透析を受ける石井さん

敏子
トモ子
みどり
静江
ウタ子
みつえ
文子
姚子
ミツ
みきゑ
チエ
福枝

北島緋佐子
三浦緑葉

俳誌「円」竜胆の会

初笑ひ去年のうき事忘れけり
初鏡亡父に似たる皺いくつ
三ヶ日和服の樟脳匂ふなり
光射し刈田のう紺の風の彩

年新た雲の流れをみてをりぬ
六十路住む路地しみじみと初日影
初鴉裏のお宮の杉の穂に
初日の出葉師の森にほのぼのと
泉水にさらり浮きをり松落葉
暁天へじよじよに明けゆく大八洲
ホームの灯影らむ奢り初旅行
石段を登りて初春般若経
霧吹けば土黒々と元日草
筆の穂は翁の顔や年明くる
新年の心静けき迎いけり
祈りごと一つ二つや初詣

斉藤 黎穂
伊藤 芳穂
伊藤 碧山
石井 溪堂
佐藤 羊村
越後 一蝶
安田 龍泉
斉藤耕之助
沢田石和子
北嶋 温石
石井 進
草皆 茂樹
館岡 絢
千貝 魂
沢田石和子
小林 恒子

五城石路俳句会

しんしんと足跡続く白き除夜
カレンダー残る日数けふが消ゆ
強風に母と子の風地を這へり
クレヨン虎のはみ出し孫の賀状

五城目婦人会短歌クラブ

産声の玻璃に生命の初明り
初空に一片雲の構えあり
生涯を厨の生活年明ける
舞初めのすがすがしくて白扇
虎年のふし目に託す初詣
今年こそすこやかなれと初詣
初春の宵民話こぼれるいろりばた
寿の一字額に納めし年新た
ゆずり葉や三代の顔光りあり

大原 春
加藤 敬子
細田 ミナ
川村 タキ
齊藤ヨウ子
齊藤 ハツ
伊藤 豊子
近江 三保
伊藤 みゑ

田村 陽子
猿田ひろ子
石井 貞子
大島つむぎ

友よりの送りきたりしヒアシンス
水に根張ればしきりに早春待つ

十六人の家族に変わる三日
嫁と二人の厨せわしも

品質も味も劣らぬ「あきたこまち」
種子を多めに取りて年越す

綿帽子かむれる如くわが庭の
松の緑にばた雪つもる

新年に娘や孫ら迎う部屋部屋を
一日手の痛み忘れ片付く

三ヶ日好みの和服にくつろげば
和服好みの亡夫を思えり

雪晴れて小走り急ぐ初詣
合格願う子の白い息

遠き日に胸ときめかせし歌一首
まなうらに顯たせて歌留多読みおり

静もりと冷気漂う本堂に
初奉詠の声のひびけり

松の緑にかるやかに降る白雪を
花と眺めつ初鏡よし

みきゑ
みわ子

タカ子
フクエ
チエ子
セツ子
ヒデ子
和子
ウタ子
富子

いそのめ風土記

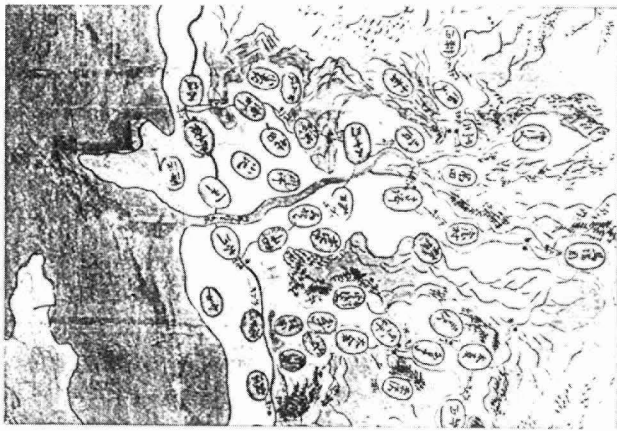
(21)

五城目の交通の発達(一)

江戸期の街道

江戸時代の五城目の交通路は、三種の街道と馬場目川である。五城目を通る街道は、本街道・脇街道・間道と多様で、鳥瞰すれば当時の街道の種類が全て揃った交通資料館のようなものである。

本街道は当時の日本の幹線道路であり、当町域西部を八郎潟にそって南北に走る羽州街道(福島―青森)がこれにあたる。本街道に



『正保国絵図』五城目付近

りかなり広い。特に藩主の巡遊や参勤交代で通過する津軽公や松前公に対しては、渡河用の舟、伝馬、米、大豆等を提供することを義務づけられ、農民たちにとっては負担が大きかった。

さて羽州街道と五城目を直接結ぶのが脇街道であるが、『領中大小道程帳』によれば、

①大川村―五十野目村
②一日市村―五十野目村
の二本であった。以上が平野部の街道である。

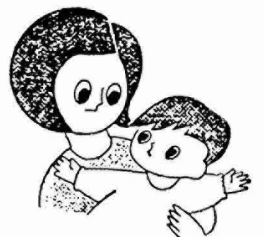
次に山間部に目を転ずれば、脇街道の指定がないとはいえず、中世以来の街道が脇街道と脇街道を連結する間道として、ひんぱんに利用された。具体的には次のルートである。

①五十目―浅見内―松山
②五十目―中津又―両阿仁
③五十目―杉沢―両阿仁
④五十目―浅見内―両阿仁

このうち浅見内経由の松山ルートは南秋と山本地域を結ぶルートとして、中津又経由の阿仁ルートは阿仁銅山への廻米ルートの一つとして共に重要視されていたわけである。

よくいわれる「五城目街道」は、明治十年(一八七七)の道路規定規則で用いられた名称で、江戸期には正称として用いられた事実はないようである。

(県立博物館 渡部紘一)



お誕生

おめでとう

ございます

(敬称略)

畑沢美喜子 長女 11月21日
修一郎 保子 田町
尾形聡美 長女 11月29日
芳明・讓 古川町
嶋崎啓太 二男 12月8日
泰樹・早苗 下樋口
鳥井慧子 長女 12月15日
孝一・早苗 上樋口上
小林聖子 長女 12月16日
誠悦・福子 畑町
柴野晃大 長男 12月19日
隆司・章子 新畑町

千田知恵 二女 12月21日
誠悦・明美 岡本一区
越高康裕 長男 12月26日
勝彦・友子 水沢

おくやみ

申し上げます

(敬称略)

石川鉄太郎 50歳 蓬内台 12月1日
越後迪子 46歳 一番町 12月8日
小鎌清二 56歳 一番町 12月11日
工藤クニ 90歳 浅見内二区 12月12日
伊藤キエノ 75歳 雀館 12月14日
加藤コノ 79歳 浦横町 12月19日
渡辺夏太郎 68歳 紀久栄町 12月19日
草皆タミエ 78歳 帝釈寺 12月25日

町の人口と世帯

1月1日現在

人口	15,615人	(-6)
(男)	7,464人	(-13)
(女)	8,151人	(+7)
世帯	3,940世帯	(+2)

※ ()内は前月との比較



森山荘に 寄せられた善意

(敬称略)

十二月十一日
慰問(民謡踊り外)、手造り
おやつ一人一袋
天王町婦人会
十二月十八日
造花、千羽鶴、チーズケー
キ六十三個、バザー利益金
一万円
五城目高校J・R・C
十二月二十二日
慰問(民謡踊り)

八郎潟町民謡同好会
十二月二十三日
理容奉仕

今町 小杉田啓一

十二月二十四日
コスモス千本、キャビン五
百本、キャスター五百本、
マイルドセブン五百本
日本たばこ産業K・K
十二月二十五日
うさぎのぬいぐるみ
三十五個
長町 池田啓子
十二月三十一日
そば五十個



善意銀行 預託者

(敬称略)

十一月二十八日
三万円 谷地中 佐藤一郎
(亡妻リサ様の香典返しと
して)
十二月四日
二万円 上田町 尾形秀樹
(亡父愛之助様の香典返し
として)